

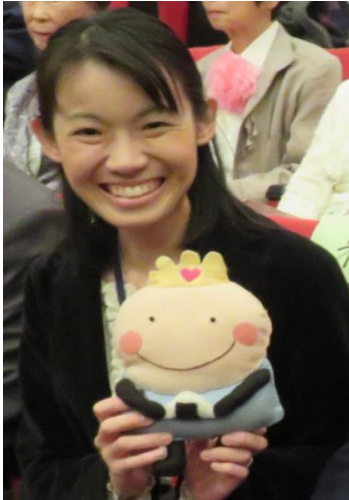
# 先輩職員からのメッセージ



柴田 真弓主任

福祉推進課 地域支援係

社会福祉学部福祉計画学科卒業 平成 17 年度採用



私は、中央地区の担当として、地区社協や民児協の支援、コミュニティソーシャルワーカー、生活支援コーディネーターをしています。三世代交流の促進やボランティア発掘養成、制度の狭間の問題への対応など、社協ならではの課題に夢中になって取り組んでいます。住民の方々と共に地域課題を発見し、解決策を考えて事業を企画し実施していく。そのプロセスにいかにも多くの人々を巻き込み理解を得ていくのが職員としての力の見せ所だと思います。人相手の仕事ですので、思うようにいかないことも多くありますが、コミュニケーションを重ね、信頼関係を築きながら進めていくよう心がけています。

学生時代に学んだ地域福祉を実践できる職場で働くことができ、大きなやりがいを感じています。

## ※受験される皆さんへ※

社協の仕事の対象は、地域で暮らしている、子どもからご高齢の方まで、障がいの有無や経済状態にかかわらず、すべての方々です。その一人一人と円滑なコミュニケーションを図るには、福祉に限らない多様な知識や経験が必要です。そしてそれが職員としての「強み」になると考えています。

子育て経験もその一つで、私自身、現在5歳と8歳の2人の男の子を育てながら仕事をしていますが、育児休業の取得等も含め、仕事にも役立っていると感じています。

皆さんが今持っている「強み」と就職後に身につける「強み」を生かして、相模原市社協を今よりもっと、住民の方々に愛される存在にしていけたらと願います。

## ～柴田主任のある一日～

- 8:30 出勤
- 9:00 個別ケースの訪問  
(コミュニティソーシャルワーカー業務)
- 11:00 地域ケア会議地域づくり部会の資料作成  
(生活支援コーディネーター業務)
- 12:00 お昼休憩
- 13:30 地区社協コミュニティ部会に参加  
(三世代交流事業についての話し合い  
子育てサロンとの交流についてなど)
- 15:00 地区社協事務局と打合わせ
- 16:00 事務処理
- 17:15 退社

里吉 遼祐主任 総務課 企画財政係

人間福祉学部福祉コミュニティ学科卒業 平成 23 年度採用

社協受験のきっかけは、私が高校生のときに母が重病を患ったことです。一時期は、余命宣告がされるほどの深刻な状況でしたが、家族や周囲の人の支えがあり、今では元気に生活しています。その出来事から「苦しいときの母のように助けを必要としている人はたくさんいるんだろうな」と考え、福祉を志すようになりました。

その後、福祉系大学に入り地域福祉に出会いました。支援者と要支援者の間だけで完結するのではなく、要支援者が暮らす「地域」に着目し、誰もが安心して暮らせる地域を住民皆が協力して作り上げていく、そんな地域福祉に魅せられ一生関わっていきたく強く思いました。そのような思いが通じたのか、私は、社協で働くことになりました。

いま社協で働いていることを心よりうれしく思っています。



### ☆受験される皆さんへ☆

大学時代、私は座学による学習が中心で、外部でのボランティア活動や地域活動にはあまり積極的に取り組んできませんでした。

座学での知識は、現場で役に立つのか？入職後に苦労するのでは？と心配していましたが、周りの経験豊富な先輩職員や、新米職員にも優しく（ときに厳しく）接してくださる地域の方々のおかげで大変ながらも充実した毎日を送ることができています。

大切なのは、「やる気」と「相手の懐に飛び込んでいく勇氣」です。それらがあればきっと良い社協職員になれると思います。

これまで福祉に関わってきた人もそうでない人も是非社協の懐に飛び込んでみてください。

### ～里吉主事のある一日～

- 8:30 出勤
- 9:00 事務処理
- 10:00 広報紙掲載記事「ボランティア活動」取材
- 12:00 お昼休憩
- 13:00 高校で「施設職員による福祉の仕事紹介」授業を開催
- 15:30 広報紙記事筆耕
- 17:00 市社協ホームページ、ブログの更新作業
- 17:30 退社

## 今橋 萌夏主事

福祉推進課 市民活動係

文学部 フランス文学科卒業 平成28年度採用



私は、大学進学、就職と社会福祉とは直接的には関係のない道を歩んできました。前職である金融機関の窓口担当として日々過ごすなかで、さまざまな方と接する機会がありました。そこで感じたことは、地域の中に困りごとを抱えた人は、たくさんいるということ、そしてまだ困りごととして本人が声をあげられていない場合が多いということです。それまで、社会福祉と聞くと病院や施設というイメージをもっていたのですが、身近な地域の中にこそ、まだ問題として提起されていないことがたくさん存在するのだと考えるようになりました。社協では、地域の方々と協働して誰もが安心して暮らせるまちづくりを行っていること、既存の制度や仕組みでは解決できないような困りごとを抱えた人々に対する取組を行っていることに魅力を感じ、社協への転職を決意しました。

### ☆受験される皆さんへ☆

3年前の夏の終わり、社協のホームページからこの「先輩職員からのメッセージ」を見ました。当時は、社会福祉士の資格を取るために夜間の専門学校に通っておりましたが、社会福祉について学びはじめたばかり、1年後の自分がどうなっているのか全く分からないというような焦りと不安な気持ちでいっぱいでした。

大学在学時の就活や社協への転職を通して、「人生はなるようになる！」ということを学びました。このメッセージをご覧になっている皆さんも、今は、不安な気持ちかもしれませんが、ご自身の夢や道について、焦らずじっくりと考え、やれることは、とことんチャレンジしてみる事が大事だと思います。

来年度、一緒に働けることを楽しみにしています！

### ～今橋主事のある一日～

- 8:30 出勤
- 9:00 ボランティア活動コーディネート
- 12:00 お昼休憩
- 13:00 コーディネート記録整理
- 14:00 施設訪問
- 15:00 ボランティアフェスティバル打合せ
- 16:30 事務処理
- 17:30 退社